

PROS

Proteo-Science Center, Ehime Univ.

愛媛大学プロテオサイエンスセンター PROSセミナー & 大学院特別講義

マラリア研究部門主催

日時：平成29年 1月16日(月) 18:00～

場所：ADRES 応用タンパク質研究部門4階会議室(城北キャンパス)

このたび、プロテオサイエンスセンターマラリア研究部門主催のセミナー & 大学院特別講義を開催いたします。皆様のご来場心よりお待ちしております。

プレフォルディンググループII型シャペロニンシステムの 分子機構とプロテオスタシスにおける機能

東京農工大学 大学院 生命機能科学部門

養王田 正文 教授

真核生物や古細菌の細胞質に存在するシャペロニンは、真正細菌のシャペロニン(GroEL)とは異なるGroup II型に分類される。Group II型はGroESを必要とせず、Apical Domainに存在するHelical ProtrusionがBuilt-in Lidとして機能することで、構造形成中間状態のタンパク質をCavityの中に閉じ込めてその構造形成を促進する。プレフォルディングはCCTと協調して機能するタンパク質として発見されている。6本足のクラゲのような構造をしており、構造形成中間状態のタンパク質を捕捉し、Group II型シャペロニンに受け渡している。我々は超好熱性古細菌由来Group II型シャペロニン及びプレフォルディングを用いて、そのタンパク質フォールディング機構に関する研究を行って来た。本セミナーでは、我々が解明したプレフォルディンググループII型シャペロニンによるタンパク質フォールディング機構を紹介すると共に、貴センターに共同研究をお願いしたいと考えている真核生物由来プレフォルディンググループII型シャペロニンに関する最新の研究成果を紹介します。

◆お問い合わせ：プロテオサイエンスセンター マラリア研究部門 内線：(8)9939(高島)

なお、本セミナーは医学系研究科を対象とした大学院特別講義としても実施します。
大学院生は、当日配布されるレポート用紙に講義概要等を記述し、提出してください。



愛媛大学